

# ～ナビゲーター紹介～ 阪長 友仁（さかなが ともひと）

1981年生まれ（33歳） 大阪府出身  
新潟明訓高校、立教大学卒

## ☆プロフィール

・スリランカナショナルチームコーチ

2006年 アジアチャンピオンシップ @パキスタン

2007年 U18アジア大会 @台湾

・タイナショナルチームコーチ

2006年 ドーハアジア大会 @カタール

・ガーナナショナルチーム監督

2007年 北京オリンピックアフリカ大陸予選 @ナイジェリア、南アフリカ

・青年海外協力隊

2008～10年 コロンビア 野球指導隊員 コロンビアチームの日本遠征を実施

・JICA企画調査員

2011～14年 グアテマラ スポーツ・教育・環境・保健分野担当

LADジャースの協力を得て、ラテンアメリカ野球指導力向上研修会開催

・NPO法人BBフューチャー職員

2014年～ ドミニカ共和国野球指導法調査・研究、国内チーム・プロ野球選手サポート



## ～参加をお考えのみなさまへ～

時代は刻々と変化を続け、グローバル化の波も相まって、世界における日本の立場、日本の教育やスポーツを取り巻く環境も日々変化していることはご承知の通りかと思えます。その中で、みなさんが現在携わっておられる、またこれから携わろうと思われている教育界・スポーツ界（特に野球界）に課せられている課題も目まぐるしく変化していることを実感されているのではないのでしょうか？

教育界では以前はほとんど問題となっていなかったイジメや不登校の問題、教師と生徒の在り方（距離感）の変化、野球界では少子化と他競技（特にサッカー）の躍進による深刻な野球離れ、選手の平均的な運動能力の低下など、20年前・30年前はまさかこのような状況になるとは想像もしていなかった現実が目の前にあります。

そして、これから20年・30年間の日本の教育界・スポーツ界にとって、最も重要な立場にいるのは日々子どもたちと接する我々若手の指導者や教師、またこれからそういった立場になりたいと考えているさらに若い世代の方々ではないでしょうか。

私はこれまで、幸いにも様々な国で野球指導に携わる機会をいただきました。現在もアメリカに次いで最もメジャーリーグを輩出しているドミニカ共和国へ実際に滞在して、選手が持っている能力を最大限伸ばせる育成システム・指導方法・指導者としての在り方などを調査・研究するとともに、これらの経験を日本の教育・野球指導現場に還元すべく、日本の複数の大学や高校、そしてクラブチームと共に実践を行っています。

ぜひ、これからの日本を担う、我々若手の指導者やさらに若い大学・高校生の皆さんが、様々な意見を持ち寄り、前向きな改革を共に行える機会にすることができればと考えています。ざっくばらんに楽しい研修会にしたいと考えていますので、ぜひぜひご参加ください。我々にもできます！教育・スポーツを通じてもっともっと明るく素敵な国にしていましょ！

